

第2学年 音楽科授業実践報告（例）

日時 2010年6月25日



児童 北広島市立緑ヶ丘小学校

2年2組 19名

指導者 高田 紅花

1、題材名「リズムやドレミとなかよし」

2、実践内容

学 習 内 容	教師との関わり ※指導の留意点
<p>1、全音符、2分音符、4分音符、8分音符について理解し、音の長さを比べる。</p> <div data-bbox="400 658 715 768" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> 写真など入れてもよい </div> <p>2、カードを見ながら、たたくリズムを体のいろいろなところで表現する。</p> <div data-bbox="248 909 568 1146" style="text-align: center;">  </div> <p>3、4つのカードを並べて、連続で表現する。</p> <p>4、カードの順番を入れ替えて表現する。</p> <p>5、カードの数を増やし、順番を入れ替えて表現する。</p>	<p>・それぞれのカードを提示し、4拍の中に音符がいくつ入るか確認し、手拍子で練習する。</p> <div data-bbox="724 651 1455 775" style="text-align: center;">  </div> <p>・全音符～両手を上にあげて4拍分キラキラポーズ</p> <p>・2分音符～両手で肩を打って外側に広げる。</p> <p>・4分音符～4回手拍子をする。</p> <p>・8分音符～両手の指先で交互に8回机を軽く打つ。</p> <p>※ゆっくりのテンポから始める。リズムパターンを全員でたたけるようになったことを確認してから、次へ移る。</p> <p>・4、5では児童に目隠しをさせ、カードの順番を入れ替える。</p> <p>※それぞれのリズムパターンが正しく表現できているか、確認する。</p>

3、成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・4種類の音符をそれぞれ身体表現することで、音の長さの違いを意識づけることができた。 ・拍をしっかりと聞くようになり、拍にのってリズムを表現する児童が多かった。 ・目隠しをすることで「次のリズムは何だろう？」と期待しながら、意欲的に活動できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8分音符のリズムを急いでしまい、揃いにくかった。全体だけでなく、小グループでも練習し、正しく表現しているか確認しなければならなかった。